

ISC2™

資格維持 ハンドブック



コンテンツ

ISC2 資格維持ハンドブックの概要と使用方法	3
カスタマーサービス	3
認定資格とメンバーシップの維持方法	4
CPEクレジット要件	5
資格別CPE要件	5
グループAとグループBのCPEクレジット	6
グループA クレジット:ドメインに関連するアクティビティ	6
グループB クレジット:専門能力開発	6
CPEクレジットの計算方法	7
複数資格の維持方法	7
CPEクレジットの監査 (audit)	7
記録管理	8
異議申し立てプロセス	8
CPEクレジットの繰越し	8
猶予期間	8
要件を満たしていない場合	9
CPEカテゴリー	10
専門職への貢献 (グループA)	10
教育 (グループA)	12
専門教育 (グループB)	13
独自性の高い業務経験 (グループA)	13
ISC2 CPE アクティビティ	14
BrightTALKで開催される ISC2 WebiarのCPEクレジット	16
認定CPEパートナー	16

ISC2 資格維持ハンドブックの概要と使用方法

ISC2メンバーになっていただきありがとうございます。

このハンドブックには、ISC2資格、またはアソシエイトの維持に関連する要件、ポリシー、手続きに関する情報が記載されています。すべての資格保有者およびアソシエイトは、ポリシーとガイドラインを遵守する必要があります。

このハンドブックには、資格維持のための継続教育と能力開発を支援するための、ISC2が開発した専門能力開発アクティビティと学習リソースの概要も含まれています。

カスタマーサービス

ISC2メンバーシップ、特典、CPEポータル、AMF(年会費)、プロフィールの変更、イベントサポートに関する情報またはサポートについて、電話、メール、またはライブチャット機能(営業時間内)にて [お問い合わせください](#)。



認定資格とメンバーシップの維持方法

ISC2のメンバーまたはアソシエイトとして、資格およびメンバーシップのステータスを維持するには、CPEクレジットを獲得し、年会費 (AMF) を支払う必要があります。メンバーとしてのステータスを維持するために両方の要件が必要です。

ISC2の資格 (ISSAP、ISSEP、ISSMP、CISSP、CCSP、SSCP、CGRC、CSSLP) を1つ以上保有しているメンバーは、メンバーシップサイクルの1周年記念日とその後の毎年同じ日に135米ドルのAMFを支払う必要があります。ISC2資格の保有数に関係なく、お支払いいただく年会費 (AMF) は1つのみです。

CC資格のみを保持している会員およびISC2のアソシエイトは、50米ドルの年会費 (AMF) を支払う必要があります。支払い期限は、サイクルの1周年記念日とその後の毎年同じ日です。アソシエイトで、資格とメンバーシップに必要なすべての経験要件を満たすことができた場合は、エンドースメント手続きの完了時に85米ドルのアップグレード費用を支払う必要があります。翌年のメンバーシップの年会費 (AMF) は135米ドルになります。ISC2資格を追加で取得したCC保有者にも同じアップグレード費用が適用されます。











3年間の認定サイクル終了時に、CPEクレジットと年会費 (AMF) の支払い要件が満たされると、メンバーは自動的に新しいサイクルの再認定を受けるため、追加の手続きは不要です。

1年間のアソシエイトサイクル終了時に、必要なCPEクレジットと年会費 (AMF) の支払い要件の両方を満たした場合、アソシエイトステータスは新たな1年間のサイクルに更新されます。



CPEクレジット要件

メンバーとして、ISC2認定制度では、3年間の認定サイクル中に継続専門教育(CPE)クレジットを取得し、**CPEポータル**を通じてCPEクレジットを提出する必要があります。ISC2では、認定資格維持を円滑に進めるため、年間最低取得数を推奨していますが、アソシエイトの場合を除き、年間要件はありません。

資格/必要数	CPEタイプ	推奨される 年間最低 CPE数	3年間の 合計 CPE数
	グループA グループAまたはB 合計	15 - -	- - -
	グループA グループAまたはB 合計	15 - 15	45 - 45
	グループA グループAまたはB 合計	30 10 40	90 30 120
 	グループA グループAまたはB 合計	20 10 30	60 30 90
 	グループA グループAまたはB 合計	15 5 20	45 15 60
  			
CISSPを保有している場合*	グループA	20	60
CISSPを保有していない場合	グループA	47	140

* もしCISSPとISSMP、ISSEP、またはISSAPを保有している場合、CISSPの3年サイクルで必要なグループAのCPEクレジットの総数のうち20CPEクレジットは、ISSMP/ISSEP/ISSAPに直接関連している必要があります。これらの認定資格を複数保有している場合は、それぞれで20CPEクレジットを取得する必要があります。ISSMP、ISSEP、およびISSAPのCPE要件は、自動的にCISSP CPE要件にカウントされます。

グループAとグループBのCPEクレジット

グループAのクレジット:ドメインに関連するアクティビティ

グループAのクレジットは、それぞれの資格のドメインでカバーされている分野のアクティビティに直接関連するものです。

以下の例が含まれます:

- Skill-Builders、Certificateコース、資格トレーニングなど、ISC2のコースを受講する
- サイバーセキュリティに関するホワイトペーパーを読む
- サイバーセキュリティに関する記事の出版
- ISC2 Security Congress 2023について
- 情報セキュリティに関連したプレゼンテーションの準備や情報セキュリティ教育の実施
- ISC2 公式トレーニングコースを教える講師には適用されません。
- 通常の業務とは異なる、独自性の高いプロジェクトの経験
- プロジェクトのための研究や資格試験に関連した自己学習
- 政府、公共部門、その他の慈善団体におけるセキュリティ関連活動へのボランティア活動
- サイバーセキュリティ(または関連分野)の高等教育コースを受講する

グループBのクレジット:専門能力開発

グループBのクレジットは、それぞれの認定資格のドメインに関連する以外の、総合的な専門スキル、教育、知識、またはコンピテンシーを向上させる一般的な専門能力開発活動を完了した場合に取得できます。

これには、プロフェッショナルスピーキング、ジェネラルマネジメントコースなどのプログラムが含まれます。ドメインに直接関連するものではありませんが、ISC2はこれらのスキルがすべての専門家の成長に不可欠であることを認識しています。

グループBのCPEクレジットは、ISC2アソシエイト、およびCC保有者には適用されませんのでご注意ください。

以下の例が含まれます:

- リーダーシップ会議など、セキュリティ以外のイベントへの参加
- エモーショナルインテリジェントトレーニングなどの非セキュリティ教育コースへの参加
- セキュリティ以外のプレゼンテーション、講義、またはトレーニングの準備
- セキュリティ以外の政府/民間セクター/慈善団体委員会
- 委員会活動、記事寄稿、コミュニティプロジェクト、サイバーセキュリティに関する教育提供などのボランティア活動

CPEクレジットの計算方法

通常、アクティビティに費やした時間1時間につき1CPEクレジットを取得できます。CPEのクレジットは0.25、0.50、0.75単位で報告することができます。ただし、学習の深さや継続的な取り組みの量によっては、より多くのクレジットに見合う価値があるものもあります。CPEクレジットは、収入がある通常の業務では獲得できません。メンバーまたはアソシエイトが1つのアクティビティで申請できる最大クレジット数は40 CPEクレジットです。

CPEアクティビティが複数日に渡って行われた場合、終了日で対応する認証サイクルを判断します。例えば、アクティビティが2023年11月1日に始まり、2023年12月5日に終了した場合、CPEクレジットは、2023年12月5日に有効なすべてのサイクルに適用することができます。

複数資格の維持方法

ISC2メンバーが複数の認定資格を保有している場合、提出したCPEクレジットは、完了日時点で自動的にすべての有効な認定資格にカウントされます

もしアクティビティが他の資格のドメイン情報に関連していない場合、CPEポータルで「上記のいずれかに該当しない」を選択すると、他の資格にはグループBのクレジットとして適用されます

ISC2によってアカウントに追加されたCPEクレジットは、有効期間内のすべての資格に自動的に適用されます。なお、これは猶予期間中の認定には適用されません。

CPEポータルに同じアクティビティを複数回入力しないでください。

CPEクレジットの監査 (audit)

ISC2は、提出されたCPEアクティビティについて、メンバーおよびアソシエイトによるランダム監査を実施します。これは、ISC2資格の完全性を維持し、ISO 認定基準への準拠を保証する重要なプロセスです。

監査対象として選ばれた場合は、すでに提出していない限り、提出プロセス中に、アクティビティを証明するために必要な書類の説明が電子メールで届きます。出席を証明する書類、または該当アクティビティの簡単な説明をまだ提出していない場合は、提出する必要があります。認定を維持するため、メンバーは監査要求に返答し、90日以内に必要な情報を提供する必要があります。ご不明な点がございましたら、カスタマーサービスチームにお問い合わせください。

記録管理

提出プロセスのベストプラクティスとして、CPEポータル内のSupporting Documentationセクションから、CPEアクティビティの証拠を提出することをお勧めします。

取得したCPEクレジットの証明は、コース証明書、授与された卒業証書、出席証明書または領収書、講演や指導のための調査や予習メモ、公式会議の議事録コピー、名簿または登録資料の書類などの形で提出することができます。

書籍・雑誌におけるCPEクレジットは、書籍・雑誌本体、売上明細書、請求書、図書館の記録などの「所持証明」を保管してください。

最低限、証明書にはタイトルと、書籍の場合は著者とISBNナンバー、雑誌の場合は出版社を記載して保管します。

監査に備えて、現在の認定サイクルの満了後も少なくとも12か月間は取得したクレジットの証明を保管しておくことをお勧めします。

異議申し立てプロセス

CPEアクティビティの提出が拒否された場合、拒否から90日以内にその決定に対して意義を申し立てる権利があります。[お問い合わせフォーム](#)に、異議申し立ての根拠と、検討すべき関連書類を記入してください。異議申し立ては審査され、適切に解決されます。

CPEクレジットの繰り越し

繰り越し可能なCPEクレジット数は、認定資格として推奨される年間必要数と同数です。繰り越しできるのはグループAのCPEクレジットのみで、3年間の認定サイクルの最後の6か月間に、必要なCPEクレジット数を超えて、取得する必要があります。例えばCISSPの場合、3年間の前認定サイクルで、最後の6ヶ月間に取得したCPEに限り、取得したグループAの最大40 CPEクレジット（必要数の120クレジットを超えた分）まで繰り越すことができます。繰り越したCPEクレジットは、次の認定サイクルの1年目の年間推奨 CPE クレジット数を満たすことができます。

猶予期間

認定またはアソシエイトサイクルの終了日に達し、CPEクレジット要件を満たしていない場合、すべてのCPEクレジットの提出を完了するため、90日間の猶予期間が与えられます。この90日間は、CPEクレジットの取得と申請の両方が可能です。

要件を満たしていない場合

3年間(アソシエイトの場合は1年間)のサイクル終了後、90日以内にCPE要件を満たさない場合、認定が停止されます。ステータスが一時停止されている間は、認定を申請することができず、デジタルバッジは無効になり、オンラインのメンバー認証ツールで詳細を確認できなくなります。

ISC2は、認定が停止されたことをメールでお知らせします。

期限までに認定更新要件を満たせない可能性があると感じた場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。

停止状態は最長2年まで維持することが可能です。2年後、認定資格とメンバーシップステータスは終了し、すべてのメンバーシップは取り消されます。退会した認定メンバーが復活を希望する場合、復活する資格の各ドメインについて最低5 CPEクレジットと、主要ドメインにおける40 CPEクレジット、合計120 CPEクレジットを提出する必要があります。退会したメンバーの復活のためのCPEアクティビティは、12か月以内に取得する必要があります。終了したアソシエイトは、再試験を通じてのみ復活できます。終了した認定メンバーは、代わりに再試験を通じて復活を求めることもできます。

メンバーまたはアソシエイトは、認定が一時停止または終了された場合、カスタマーサービスに連絡して異議を申し立てる権利があります。



CPEカテゴリー

CPEクレジットは、さまざまな学習活動を通じて取得でき、CPEポータルで次のカテゴリに登録できます。

専門職への貢献(グループA)

認定資格のドメイン関連トピックの新規コンテンツ作成に関するアクティビティ。

CPEポータルに記載されている対象アクティビティ:

- セキュリティ専門家団体運営のための理事業務
- 試験問題開発のSME (Subject Matter Experts)
- 政府/民間および公共部門/慈善団体委員会
- 認知された委員会でのセキュリティ標準開発への参加
- プレゼンテーション/講義/トレーニングの準備
- Webinar、ポッドキャスト、カンファレンスにおけるプレゼンテーションの準備
- トレーニングセミナーや講義で使用する教材の新規作成または更新
- パネルディスカッションでのSME (Subject Matter Expert) 業務
- 執筆、調査、出版

ISC2で可能な「専門職への貢献」カテゴリのCPEアクティビティリストについては、13ページを参照ください。



以下アクティビティに付与される最大CPEクレジット数:

アクティビティ	最大CPEクレジット数
本 - 著者	1冊につき 40
本 - 共著者	1冊につき 20
本 - 編集者	1冊につき 10
本 - 章のみ - 著者	1章につき 20
本 - 章のみ - 共著者	1章につき - 10
本 - 章のみ - 編集者	1章につき - 5
記事 - 著者	1記事につき 20
記事 - 共著者	1記事につき 10
記事 - 編集者	1記事につき 5
プロフェッショナルブログ - 著者	1ブログにつき 10
プロフェッショナルブログ - 共著者	1ブログにつき 5
プロフェッショナルブログ - 編集者	1ブログにつき 2
ホワイトペーパー - 著者	1ホワイトペーパーにつき 10
ホワイトペーパー - 共著者	1ホワイトペーパーにつき 5
ホワイトペーパー - 編集者	1ホワイトペーパーにつき 2
トレーニング準備:1日コース	1トレーニングにつき 2
トレーニング準備:2日間コース	1トレーニングにつき 5
トレーニング準備:5日~7日間コース	1トレーニングにつき 10
既存トレーニングの準備:セメスター (12週間以上)	1トレーニングにつき 20

監査時に受理される補足書類:出版物のコピー、講演または教育用の研究/準備メモ、サンプル教材、またはコースアジェンダ。貢献した団体からの手紙または証明書、または参加を示す会議の議事録。

教育(グループA)

教育コンテンツに関連するアクティビティで、トピックが保有資格のドメインと一致しているもの。

CPE ポータルに記載されている対象アクティビティ:

- 本、雑誌、ホワイトペーパー
- 講座、セミナー - その他
- 高等教育コース
- 業界会議
- 情報セキュリティ専門家団体チャプターミーティング
- ISC2認定コース
- ISC2 PDIコース
- オンラインWebinar、ポッドキャスト、その他のオンライン資料
- ベンダープレゼンテーション

ISC2で利用可能な、「教育」カテゴリで利用できるCPEアクティビティリストについては、13ページを参照してください。

最大CPEクレジット数

アクティビティ	最大CPEクレジット数
自己学習: 書籍	1冊につき5
自己学習: 雑誌	1雑誌につき5
自己学習: ホワイトペーパー	1ホワイトペーパーにつき1

監査時に認められる証明書類: コースの成績証明書、授与された卒業証書、出席証明書または領収書、公式会議の議事録の写し、名簿／登録資料の書類。

上記の証明書をお持ちでない場合は、学習内容について250語以内の簡単な説明と、証明書または出席証明書を提出してください。

専門教育(グループB)

マネジメント、対人コミュニケーション、プロジェクト計画、チームビルディングなど、専門スキルの向上に関するアクティビティ。これらのアクティビティは、サイバーセキュリティや保有資格のドメインに直接関係している必要はありません。

- Chapterの結成または運営
- セキュリティ以外の教育講座・セミナー
- セキュリティ業界以外の会議
- セキュリティ以外の組織/委員会
- セキュリティ以外のプレゼンテーション/講演/研修の準備

1エントリーあたりの最大CPEクレジット数は40を超えてはなりません。

監査時に認められる証明書類:対象となる組織からの手紙、証明書、またはその他の文書。

注:アソシエイトおよびCC資格のみを保有しているメンバーは、グループBのCPEクレジットは必要ありません

独自性の高い業務経験(グループA)

メンバーとアソシエイトは、独自のプロジェクト、課題、アクティビティ、演習に携わっている場合、通常の勤務時間内に行われたアクティビティに対して、グループAのCPEクレジットを取得することができます。独自性の高いプロジェクト、課題、アクティビティまたは演習は、通常(または日常的な)業務の責任または業務範囲外にあるものでなければなりません。

1エントリーあたりの最大CPEクレジット数は10を超えてはなりません。

監査時に認められる証拠書類:独自プロジェクトの証明、またはプロジェクト/アクティビティを要約した250語以内の簡単な説明。

ISC2 CPE アクティビティ

以下のリソース、学習プログラム、および交流機会は、ISC2が継続的な専門能力開発を念頭に置いて開発したものです。これらのアクティビティのほとんどのCPEクレジットは、メンバーアカウントに自動的に提出され、監査は免除されます*。

ISC2 アクティビティ	CPE カテゴリー	グループ	CPE クレジット数
Certificateコース	教育	A	1 Certificateにつき 2~8
Skill-Builders	教育	A	1プログラムにつき 0.5
Security Congress	教育	A	1時間につき 1
Secure Events	教育	A	1時間につき 1
Spotlight イベント	教育	A	1時間につき 1
Webinars	教育		
Security briefings - アジア太平洋地域	教育	A	45~60分につき 1
Security briefings - 北米	教育	A	45~60分につき 1
Security briefings - 欧州・中東・アフリカ	教育	A	45~60分につき 1
Knowledge Vault	教育	A	45~60分につき 1
Think Tank webinar	教育	A	45~60分につき 1
Membership channel	教育	B	45~60分につき 1
公式オンライン認定資格トレーニング	教育	A	1トレーニングにつき 40
CPE パートナーイベント/コース	教育	A/B	1時間につき 1
News & Insight オンライン出版物	教育		
クイズ	専門職への貢献	A	1クイズにつき 2
コンテンツ開発	専門職への貢献	A	1時間につき 1
Chapterミーティング	専門職への貢献	A	1時間につき 1
試験問題の開発	専門職への貢献	A	1時間につき 1
ボランティア - Awards	専門職への貢献		
Chapter Recognition Awards Review Committee	専門職への貢献	B	1時間につき 1
Global Achievement Awards Committee	専門職への貢献	B	1時間につき 1

ISC2 アクティビティ	CPE カテゴリー	グループ	CPE クレジット数
ボランティア - グローバルイベント	専門職への貢献		
Event planning committees	専門職への貢献	A	1 時間につき 1
イベントスピーカー	専門職への貢献	A	1 時間につき 1
ボランティア - 知識とコンテンツの共有	専門職への貢献		
ブログ投稿	専門職への貢献	A	1 時間につき 1
教育分野の専門家	専門職への貢献	A	1 時間につき 1
ボランティア - リーダーシップ	専門職への貢献		
理事会理事	専門職への貢献	A	1 年間につき 40
Chapter Advisory Committee	専門職への貢献	B	1 時間につき 1
Chapter Leadership	専門職への貢献	B	1 時間につき 1
ボランティア - Center for Cyber Safety & Education	専門職への貢献		
Cybersecurity Health Check ボランティア	専門職への貢献	A	1 時間につき 1
評議員会	専門職への貢献	B	1 時間につき 1
コンテンツ開発	専門職への貢献	A	1 時間につき 1
Safe and Secure Online ボランティア教育	専門職への貢献	A	1 時間につき 1
Safe and Secure Online 翻訳	専門職への貢献	A	1 時間につき 1
Scholarship レビューパネリスト	専門職への貢献	B	合計 2~10

*自動提出されたCPEクレジットを正確に記録するため、関連する登録フォームまたはCPEアクティビティが行われるプラットフォーム(BrightTalk、Secure Eventなど)に、メンバーIDの入力が必要です。会員IDを追加できない場合は、CPEクレジットを提出し、必要な証拠書類を添付する必要があります。

BrightTALKで開催されるISC2 WebinarのCPEクレジット

BrightTalkで開催されるISC2 WebinarのCPE クレジットを正しく認定するには、ISC2 BrightTalk チャンネルでの最初のWebinarへの初回登録時に、ISC2 メンバーIDを追加することが不可欠です。

Webinarを主催するチャンネルにメンバーIDが追加されておらず、アクティビティをCPEクレジットとして自動提出したい場合は、次の手順に従ってください。

- 既存のBrightTalkアカウントを削除します。
- 新しいアカウントを作成し、
- 登録時に必ずメンバーIDを追加してください。

または、既存のBrightTalkアカウントを保持することもできます。この場合、BrightTalkアカウントの視聴履歴セクションからダウンロード可能な視聴証明書を添付することで、CPEクレジットを個人的に送信できます。

認定CPEパートナー

ISC2は、主要なセキュリティ組織やテクノロジーイノベーターと提携し、メンバーがCPEクレジットを取得しながら専門能力開発の道を歩めるよう支援しています。

CPEクレジットがアクティビティ日から6週間以内に反映されない場合は、認定CPEパートナーに直接お問い合わせください。重複または記載漏れを含め、CPEクレジット記録が正確かどうかの確認は、メンバーまたはアソシエイトとしての責任です。メンバーとアソシエイトに代わってCPEクレジットの提出を許可されたサブミッターのリストについては、[ISC2.org/members/cpe-partners](https://www.isc2.org/members/cpe-partners) をご覧ください。

CPEクレジットを提出する準備ができました：[CPEポータル](#)にログインしてください。

ISC2™

Safe and secure cyber world

ISC2.org

